

中央環境審議会 総合環境政策部会

第21回 環境研究・技術開発推進戦略専門委員会

---

# 新たな「環境研究・環境技術開発の 推進戦略」の策定について

---



# 環境研究・環境技術開発の推進戦略（案） 位置づけ①

第六次環境基本計画（案） 総合政策部会（第115回）資料1：P.128,129より

「新たな成長」を支える科学技術・イノベーションの開発・実証と社会実装に向けて、  
「科学技術・イノベーション基本計画」（令和3年3月26日閣議決定）等の最新の動向を  
踏まえつつ、環境基本計画に基づいて環境研究・環境技術開発の推進戦略を新たに策定する。

環境省を始めとして、関係府省、地方公共団体、大学等研究機関、民間企業等の各主体においては、  
当該推進戦略の内容を考慮して環境分野の研究・技術開発を推進する。

加えて、環境研究の中核機関としての国立研究開発法人国立環境研究所の中長期目標について、  
当該推進戦略に基づいて改定を行う。

さらに、環境研究総合推進費においては、当該推進戦略において設定する、環境分野において  
今後5年程度の間で重点的に取り組むべき研究・技術開発の課題（重点課題）の解決に資する  
環境行政のニーズを提示することを通じて、環境研究・技術開発を着実に実施するとともに、  
独立行政法人環境再生保全機構による配分・重点化を通じて環境政策への貢献・反映をし、  
社会課題の解決につなげる。

さらに、統合イノベーション戦略推進会議等の政府全体の動向を踏まえて  
環境分野の研究・技術開発、実証、実装を戦略的に実施していく。

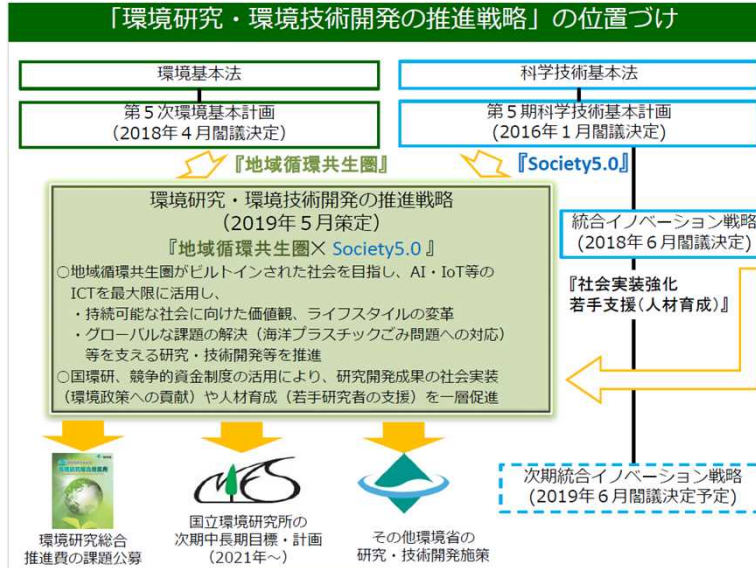


# 環境研究・環境技術開発の推進戦略（案） 策定プロセス

## 環境研究・環境技術開発の推進戦略（令和元年5月）

環境研究・環境技術開発の推進戦略

～脱炭素化・SDGs達成に向けた  
地域循環共生圏と Society 5.0 の一体的推進～



令和元年5月21日  
環境大臣

※参考資料2

## 最新動向・新規知見の取り込み

### 最新の上位計画の踏襲

第六次環境  
基本計画

（中央環境審議会  
総合政策部会にて審議中）

第6期  
科学技術・  
イノベーション  
基本計画

（令和3年3月26日閣議決定）

【諮問】 環境研究・環境技術開発の  
推進戦略について（令和6年2月）

### 意見ヒヤリング・検討（～令和6年3月）

外部有識者（12名）  
関係機関



（独法）  
環境再生保全機構



（国研）  
国立環境研究所

外部機関

国際関係



（公財）  
地球環境戦略研究機関

スタートアップ支援



CIC Japan合同会社

科学技術



研究開発戦略センター

## 推進戦略フォローアップ・推進費等の振り返り

令和4年度  
フォローアップ結果報告書

### 4. 今後に向けた課題と対応の方向（P.65）

#### （6）環境研究における共通課題

社会システム変革に関わる科学的知見も提供している。国際的には持続可能な社会を実現する上での学際・超学際の研究（人文・社会科学と自然科学などの学際を超えて、行政、企業、市民などと協働）やシステム思考でどう社会システムを変革していくかといった議論が行われているが、日本ではこれらの議論が乏しい。統合領域では上記の国際・国内の課題に統合的に取り組む研究が求められる。また、これまで少なかった人文社会科学分野や学際・超学際研究の促進のためにも、他の領域においても、領域にまたがる研究提案が排除されないような配慮をすることが望ましいと

（令和6年7月頃環境大臣決定予定）

中央環境審議会 総合政策部会  
環境研究・技術開発推進戦略専門委員会

## 「新たな」環境研究・環境技術開発の推進戦略 審議



# 環境研究・環境技術開発の推進戦略（案） 位置づけ②

## 環境基本法

### 第六次環境基本計画

(中央環境審議会総合政策部会にて審議中)

環境危機（「地球沸騰化」等）、様々な経済・社会的課題への対処の必要性

**目的** 「現在及び将来の国民一人ひとりの生活の質、幸福度、ウェルビーイング、経済厚生の向上」、「人類の福祉への貢献」

**方針** 将来にわたって「ウェルビーイング/高い生活の質」をもたらす「新たな成長」：「変え方を変える」6つの視点の提示  
 ■ストックである自然資本が基盤。それを維持・回復・充実させるための資本・システムへの大投資  
 ■無形資産である「環境価値」を活用した経済全体の高付加価値化

#### 重点戦略

環境・経済・社会の課題を統合的に解決するような横断的な6つの戦略

- 1 「新たな成長」を導く持続可能な生産と消費を実現するグリーンな経済システムの構築
- 2 自然資本を基盤とした国土のストックとしての価値の向上
- 3 環境・経済・社会の統合的向上の実践・実装の場としての地域づくり
- 4 「ウェルビーイング/高い生活の質」を実感できる安全・安心、かつ、健康で心豊かな暮らしの実現

### 「新たな成長」を支える科学技術・イノベーションの開発・実証と社会実装

5 **経済、国土、地域、暮らし、国際**関係を支える環境関連の科学技術の**研究・開発・実証・普及**について、現在及び将来の国民の**本質的なニーズ**を踏まえつつ、広範な**イノベーション**を進めていく

6 環境を軸とした戦略的な国際協調の推進による**国益と人類の福祉への貢献**

## 科学技術基本法

### 第6期科学技術・イノベーション基本計画

(令和3年3月26日閣議決定)

我が国が目指す社会（Society 5.0）

国民の安全と安心を確保する持続可能で強靱な社会

一人ひとりの多様な幸せ（well-being）が実現できる社会

Society 5.0の実現に向けた科学技術・イノベーション政策（実行計画として位置づけられる年次戦略）

### 統合イノベーション戦略2023

(令和5年6月9日閣議決定)

#### 科学技術・イノベーション政策の3つの基軸

##### 先端科学技術の戦略的な推進

技術の優位性・不可欠性も念頭に、我が国の未来を支える技術を育て社会実装に繋げる

##### 知の基盤（研究力）と人材育成の強化

国際頭脳循環を形成し、科学技術・イノベーションと価値創造の源泉を創出する

##### イノベーション・エコシステムの形成

スタートアップを前面に押し出し、科学技術・イノベーションの恩恵を国民や社会に届ける

## 環境研究・環境技術開発の推進戦略

(令和6年7月頃環境大臣決定予定)

研究・開発  
知の基盤  
人材育成

科学的知見に基づく**政策決定**や統合的な**課題解決の基盤**となる**研究・開発**等の推進

開発・実証・普及  
経済、国土、地域、暮らし、国際イノベーション  
先端科学技術  
スタートアップ

「新たな成長」を支える**最先端の環境技術**等の**開発・実証**と**社会実装**の推進

環境研究  
総合推進費  
重点課題設定



国立環境  
研究所の  
次期中長期  
目標・計画



環境分野の  
研究・  
技術開発、  
実証、実装の  
戦略的実施





# 環境研究・環境技術開発の推進戦略（案） 概要と構造

## 推進戦略フォローアップ

関係機関  
ヒヤリング等

- 令和4年度  
フォローアップ結果報告書



### (6) 環境研究における共通課題

学際・超学際の研究（人文・社会科学と自然科学などの  
国際・国内の課題に統合的に取り組む研究  
領域にまたがる研究提案が排除されないような配慮）

## 最新動向・新規知見の取り込み

### 第六次環境基本計画

（中央環境審議会総合政策部会にて審議中）

5. 「新たな成長」を支える  
科学技術・イノベーションの  
開発・実証と社会実装

### 第6期科学技術・ イノベーション基本計画

（令和3年3月26日閣議決定）

統合イノベーション戦略2023  
（令和5年6月9日閣議決定）

科学技術・イノベーション  
政策の3つの基軸

## 環境研究・環境技術開発の推進戦略

（令和6年7月頃環境大臣決定予定）

研究・開発  
★ 知の基盤  
人材育成

科学的知見に基づく**政策決定**や  
統合的な**課題解決の**  
**基盤となる研究・開発**等の推進

開発・実証・普及  
経済、国土、地域、  
暮らし、■ 国際  
イノベーション、先端科学技術  
▲ スタートアップ

「新たな成長」を支える  
**最先端の環境技術**等の  
**開発・実証と社会実装**の推進

## 新たな「推進戦略」の概要と構造（案）

### 第1章 環境をめぐる政策動向や社会の現況

### 第2章 目指すべき社会像と環境分野の研究・技術の在り方

1. 中長期的（～2050年頃）に  
目指すべき社会像

全般  
（統合領域および従来  
領域に含まれないもの）

領域別

国及び各主体に  
期待される役割

研究・技術開発課題の  
設定と統合的な解決に  
向けた施策展開の在り方

### 第3章

### 重点的に取り組むべき環境分野の研究・ 技術開発および社会実証・実装に係る課題

#### 課題の設定

1. 重点的に取  
組むべき研究・  
技術開発課題  
●（重点課題）

2. 「新たな成長」を  
支える科学技術・  
イノベーションの開発・  
実証と社会実装課題

3. 環境研究の中核  
機関としての国立  
環境研究所が  
取り組むべき課題

4. 地域での環境  
分野の研究や  
課題解決  
における課題

統合領域

気候変動領域

資源循環領域

自然共生領域

安全確保領域

### 第4章

### 環境分野の研究・技術開発および 社会実証・実装の効果的な推進方策

#### 課題解決に向けた施策展開

1. 環境研究・技術  
開発の核となる環境  
研究総合推進費の  
効果的な実践

2. 科学技術・  
イノベーションの  
開発・実証と  
社会実装の方策  
▲ 環境スタートアップ支援  
■ 国際標準化の推進

3. 環境研究の中核  
機関としての  
国立環境研究所の  
役割強化  
★ 環境研究共創拠点

4. 環境分野の  
研究・課題解決  
における地域  
拠点の役割強化